

住重労連から頂いたマスク 4,000 枚を 横須賀市障がい者施設・逗子市の3高齢者施設に寄贈!

7月31日(月)に住友重機械労働組合連合会横須賀地方本部より、不織布マスク約4,000枚を頂きました。

今回、寄贈するにあたり、逗子市の社会福祉協議会を20年以上経験し議員となった服部逗子市議会議員と相談し、逗子市にあります3つの高齢者施設へ寄贈することを決定し、8月9日(水)、10時に逗子杜の郷、10時30分に逗子ホームせせらぎ、11時30分に逗子清寿苑を中澤労福協会長、篠原地域連合事務局長、服部逗子市議会議員で訪問し、各施設に1,100～1,200枚を寄贈しました。

寄贈後には各施設と意見交換を行い、人材確保、運営面・金銭面の課題などを聞くことが出来ました。

また、日頃からお付き合いがあります。横須賀市の障がい者施設はやぶさ工房にも8月2日に500枚を寄贈し、頂いた4,000枚の寄贈を行うことが出来ました。

障がい者施設、高齢者施設は新型コロナウイルス感染症法が5類になった以降、逆に感染拡大が続いており、今でもマスクは必需品であり、いくつあっても足りないくらいと感謝されました。

三浦半島地域連合・労福協の構成組織でマスクの備蓄などがありましたら、ご連絡を頂けますようお願いいたします。

